

**製品名: PGE 合成酵素ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16030**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	17kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PTGES PTGES; MGST1L1; MPGES1; PGES; PIG12; Prostaglandin E synthase; Microsomal glutathione
別名	S-transferase 1-like 1; MGST1-L1; Microsomal prostaglandin E synthase 1; MPGES-1; p53-induced gene 12 protein
遺伝子 ID	9536.0
SwissProt ID	O14684
免疫原	抗血清はヒト PGE 合成酵素由来の合成ペプチドに対して産生された。AA 範囲: 30-79

**背景**

プロスタグランジン E 合成酵素 (PTGES) ヒト この遺伝子によってコードされるタンパク質は、グルタチオン依存性プロスタグランジン E 合成酵素である。この遺伝子の発現は、炎症性サイトカインであるインターロイキン 1 $\beta$  (IL1B) によって誘導されることが示されている。また、腫瘍抑制タンパク質 TP53 によっても誘導され、TP53 誘導性アポトーシスに関与している可能性がある。マウスを用いたノックアウト研究では、この遺伝子がコラーゲン誘発性関節炎の病態形成に寄与し、炎症反応中の急性疼痛を媒介する可能性が示唆されている。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性:(5Z,13E)-(15S)-9- $\alpha$ ,11- $\alpha$ -エピジオキシ-15-ヒドロキシプロスタ-5,13-ジエノエート = (5Z,13E)-(15S)-11- $\alpha$ ,15-ジヒドロキシ-9-オキソプロスタ-5,13-ジエノエート,誘導:TP53/p53 による,類似性:MAPEG ファミリーに属する,サブユニット:ホモトリマー,

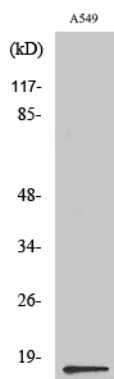
## 研究分野

アラキドン酸代謝;

## 画像データ



PGE シンターゼ抗体を使用した A549 細胞の溶解物のウェスタン プロット分析。



1: 500 に希釈した PGE 合成酵素ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタン プロット分析